

## 新たなスタート、新たな構想、新たな発展

### 一 前進する中国国家図書館

中国国家図書館 副館長 李 虹霖

中国国家図書館と日本の国立国会図書館は、長期にわたって友好的かつ緊密な提携関係を維持してきました。本日は、国立国会図書館の皆様とともに第36回日中業務交流を行えますことを大変嬉しく思います。中国国家図書館を代表いたしまして、貴館が今回の活動のためにご尽力くださったことに対し、心より御礼申し上げます。両館の業務交流が実り多いものとなりますよう願っております。続きまして、国立国会図書館の皆様、私の方から簡単に、国家図書館のここ1年の業務の発展状況、ならびに、「第十三次5カ年計画」期間における図書館事業の発展計画についてご紹介いたします。

#### 一、2017年の国家図書館の業務の発展状況

2017年は、中国の国民経済と社会発展に係る「第十三次5カ年計画」の良好な滑り出しを確実なものにし、これを進展させる重要な年です。中国政府は、年頭から『中華人民共和国公共文化サービス保障法』をはじめ、『文化部「第十三次5カ年計画」期間文化発展改革計画』、『「第十三次5カ年計画」期間全国公共図書館事業発展計画』、『文化部「第十三次5カ年計画」期間公共デジタル文化建設計画』、『中華優秀伝統文化伝承発展プロジェクトの実施に関する意見』等、一連の重要な法規や文化事業の指針となる文書を相継いで公布・下達してきました。当館もこれをもとに『国家図書館「第十三次5カ年計画」期間計画綱要』を正式に策定・公布しており、戦略的保管庫の構築、古典籍保存等の重点事業を積極的かつ着実に推進し、「国内最高の、世界をリードする図書館」の建設に向けて努力しております。

ここでまた特に皆様にご紹介したいのは、これまで17年間調査研究・修訂を繰り返してきた『公共図書館法』が11月4日に全国人民代表大会常務委員会の議決を経て2018年1月1日に施行されることです。これは、第19回全国代表大会後の中国の最初の文化関係の立法として、公共図書館事業が中国の特色ある社会主義文化事業において重要な地位にあることを強調し、また、中国の公共図書館が新たな時代に入ったことを示しています。公共図書館法及び公共文化サービス保障法並びに上記の改革政策は互いに密接に結びついており、公共図書館事業の発展法則を体現する基本制度を構築し、人々の図書館利用の権利を保証する基本規範を形成し

ています。

—— 業務構造の改善を続けていきます。学位論文閲覧室を移転させ、学位論文関連サービスを合理化し、学位論文の実物資料とデジタル資料のサービスの更なる一体化を推進しております。国際寄贈図書閲覧室を開設して、日本の出版物の文庫、岩波書店様の寄贈図書を含む国際的な寄贈図書と交換図書のために専門の書架を設け、各国との文化交流や連携協力を促進し、文明の相互尊重・相互理解を強化しております。また、国家図書館視聴覚サービスセンターの創設により、国家図書館の特色ある情報資源構築の成果を示すと同時に、国内外の優れた所蔵視聴覚文化作品を発掘し、整理し、伝え、多元的な文化芸術の普及・教育活動を大々的に展開します。これにより、国家図書館を、利用者が知識を獲得する宝庫とするのみならず、情操を養い、心を清らかにさせる芸術の殿堂にし、さらには芸術的素養を高める生涯教育の場にしてまいります。

—— 所蔵資料の規模は拡大を続けています。2017年9月末現在、所蔵資料の総数は3723.97万点/件に達し、123もの言語の資料を所蔵しています。インターネット資料の収集、口述史料の収集、各種所蔵資料のデジタル化等を通じ、着実にデジタル資料の構築を進めており、自館で構築したデジタル資料の総容量は1563.61TBに達しています。

—— 公共文化サービスのレベルを絶えず向上させていきます。2017年9月末現在、来館者数はのべ445.9万人、サイトのアクセス数は7億件以上、文献流通量は1974.5万点以上、各種レファレンスに対する回答件数は79.47万件に達しています。また、「シェークスピアからホームズまで：大英図書館の秘宝」、「『詩経』から『紅樓夢』まで——あの頃私たちが読んだ古典作品」、「品書香，賞年俗（訳注：歴史的典籍や近現代の作品を通じて、旧正月のしきたりを知る）」——2017年国家図書館旧正月慣習文化展」、「初心を忘れず、鍛錬し猛進する——国家図書館所蔵革命歴史文献貴重史料展」、「無限の大きな愛——Rewi Alley〔ルイ・アリー〕生誕120周年文献展」等、各種の公益的な展示会、講座を開催しており、これらの開催回数は477回におよびます。研修、見学、音楽公演等、その他の各種活動の開催回数も3766回に達しています。このほか、「先導者」として、全国図書館文化創造製品開発連盟を設立しました。図書館界の文化創造事業にはスタートが遅い、規模が小さい、リソースが分散している、ブランド力が弱いといった課題がありましたが、これにより、課題は有効に解消されるでしょう。斬新な構想を打ち出し、模範となって業界を牽引し、各館と協同して文化創造製品の開発とPR活動を行い、図書館による文化創造事業の新たな局面を展開していきます。

―― 重点文化プロジェクトを引き続き推進します。

国家図書館国家文献戦略保管庫の建築設計の入札業務が終わり、「自然になじみ、環境に溶け込み、中国の建築と庭園の美を体現する」設計案が、専門家および各関係者によって一致して承認されました。これは、国家文献戦略保管庫の構築における重要なマイルストーンです。

デジタル図書館推進プロジェクトでは、プロジェクトで構築したデジタル資料のワンストップ検索を概ね実現させました。そして「ネットで読書」イベントシリーズを開催してブランドの影響力を拡大したほか、貧困層に対する最適な文化的支援を展開し、貧困地域の9つの図書館を選定して、貧困地域における電子図書館の構築を試験的に進めています。

また、「中華古典籍保護計画」10周年を振り返る記念イベントを開催しました。全国の2,006の古典籍収蔵機関について古典籍全面調査への登録作業が終了しており、「全国古典籍全面調査基本データベース」の累計公開データは、120機関の調査データ43万1,756件、413万3,584点にのびります。

さらに全国古典籍デジタル資料の共同公開を記念するイベントを2回開催し、上海図書館等10の機関と協同して古典籍デジタル資料1万7,000タイトルをオンライン公開しました。累計公開データ数は3万タイトルを超え、社会的にも熱い反響を得ています。

このほか、中華民国期文献保護計画も引き続き推進しております。専門図書館、大学図書館との間で全面調査に係る協力を積極的に強化拡充し、中華民国期文献総合目録システムの書誌データは30万件に達しています。

―― 国内外における交流と協力を推進しています。

全国図書館発展研究センターとしての役割を積極的に果たすべく、図書館事業と公共文化事業の発展に係る重要業務、制度、政策問題について調査研究を行い、各レベルの政府の文化主管部門における意思決定や、各レベルの図書館の革新的発展のために参考情報を提供しています。また、『公共図書館法』、公共図書館評価基準、公共図書館業務規範、公共デジタル文化管理規則など、多くの政策文書の起草に関わり、常に図書館分野における規範体系の充実を図っています。そして、全国書誌センターとしての機能を積極的に果たすべく、国家図書目録の編纂を進めております。全国図書館総合目録作成システムに加盟している図書館は既に2,584館、書誌データの総数は1,410万件以上にのび、年間でのべ1,000万件にのぼるデータがダウンロードされています。さらに、第25回アジア・オセアニア地域国立図書館長会議、第2回中国・アラブ諸国図書館/情報専門家会議も成功させ、文化主管部門に協力し、海外中国文化センターの図書館建設のために、デジタル資料やサービスの面での支援を行いました。

## 二、「第十三次 5 カ年計画」期間における国家図書館の事業発展計画

2017 年は、中国の国民経済と社会発展に係る「第十三次 5 カ年計画」の 2 年目にあたり、国家図書館の発展は新たな歴史を迎えることとなりました。経済・社会発展の新たなトレンド、および情報サービスに対する人々の新たなニーズがもたらす課題によりよく対応すべく、中国国家図書館は、今後数年間、以下の面でさらなる努力をしていきます。

(一) 国家文献情報資源総合データベースの構築を引き続き強化し、文献情報資源の保障をより確実なものにします。

ネットワーク情報資源と「生きている記憶資源」(訳注：現在も継承されている伝統的な技術や風習など)の収集と保存をさらに推進し、実物資料とデジタル資料、インターネット資料を十分に融合させた現代的な蔵書体系の構築を促進することにより、国家の経済社会の革新的発展および政治外交上の重要課題への文献によるサポートや保障をさらに強化します。また、国家文献戦略保管庫の建設を機に、国家文献情報資源総合データベースのハード面での保障能力を全面的に高めていきます。

(二) 国家文献情報資源総目録の構築を早急に推進し、各種情報資源の高次元加工と統合的表示の能力を向上させます。

所蔵する文献情報資源の目録体系を最適化し、あらゆる種別の文献情報資源の書誌レコードがすべて網羅できるようにし、各種文献情報資源の統一的検索と統合的表示を強化します。知識の組織化技術と知識発見技術に関するフォローアップ研究と革新的応用を展開し、国家図書目録および全国図書館総合蔵書目録の構築を全面的に推進し、当館の知識提供および知識サービスのレベルを向上させます。

(三) 文献の保存・保護業務を強化し、所蔵資料の価値を発掘します。

国家図書館の資料の収蔵・保存・整理や開発利用等における強みをすべて活かし、さまざまな画期的手段を講じて、文献修復等の伝統技術の伝承を強化し、本来の状態での文献の保存を実現させる一方、文献の整理・開発・利用をさらに進め、文献の再現性を確保する形での保存も実現させ、優れた伝統文化の発掘・解明、保護・発揚、伝達・普及、および融合・発展を全面的に推進します。

(四) 専門能力を強化し、国の立法・意思決定や科学技術のイノベーションのために知的サポートをします。

国の立法・意思決定に対する文献保障能力、専門的サービス能力、および科学的な研究能力を全面的に向上させます。経済の転換発展や世界的科学技術強国建設のために国家図書館科学評価センターがサービスを行っています。そのほか、中小企

業のイノベーションや起業を対象としたレファレンスサービスを行うなど、国家図書館を国の立法・意思決定や科学技術イノベーションのための新たなシンクタンクにすることを目指します。

(五) 公共文化サービスの機能を高め、学習型社会を構築し、国民の読書活動を推進するためのサービスとサポートを行います。

社会教育サービスのシステムを整備し、国民の読書活動を推進し、『中華優秀伝統文化百部経典』編纂プロジェクト、「国家図書館公開講座」、「文津図書賞」、「4.23世界図書・著作権の日」等の活動を重点的に実施します。また、典籍博物館と図書館をさらに融合させるかたちで発展させる方法を探り、典籍博物館のリソースを学校教育に活かしていきます。

(六) 現代情報技術の高次元な研究と応用を推進し、電子図書館構築の質とサービスをさらに向上させます。

ビッグデータ、クラウドコンピューティング、IoT（モノのインターネット）といった新技術を活用し、電子図書館の一体型ネットワークの構築を推進します。ユーザのニーズに応える形で、デジタル資料の統合的構築、集中表示、統一管理を強化します。全媒体に対応したサービスを強化し、「インターネットプラス」（訳注：インターネットを各産業と融合させ、新業態や新ビジネスの創出を図る中国政府の政策）の考え方により、電子図書館サービスのグレードアップを図ります。

(七) 業界における模範的・牽引的役割を發揮し、近代型公共文化サービスシステムの構築を推進します。

各種図書館やその他の公共文化機関との連携・協力を強化し、近代型公共文化サービスシステムの構築を共同で推進します。また、全国図書館発展研究センターとしての機能を十分に發揮し、図書館事業の発展の重点領域および重要問題について詳細な研究と検討を行います。重点文化プロジェクトを企画・実施したり、優秀な講師を手配して全国の図書館を対象に図書館員の研修を行ったりするなど、様々な方法によって省・市・県の図書館、無数の基層図書館の発展を促進するとともに、図書館業界が近代型公共文化サービスシステムの構築において重要な役割を果たせるよう支援します。また業界組織が政府から移譲された任務を請け負ってこれを発展させていくのを積極的にサポートします。

(八) 国際交流・国際協力を積極的に展開し、国際的な影響力をさらに高めます。

国家図書館は、国家を代表して関係する対外文化協定を実施し、対外文化交流を展開するという職責を積極的に果たし、関係国際組織や業界組織の活動に参加し、国外の図書館との連携分野および連携範囲を絶えず拡大していきます。また、「一

帯一路」戦略に合わせて、シルクロード図書館連盟およびシルクロード電子図書館の構築を進め、シルクロード図書館館長フォーラムを企画・開催します。このほか、文化部が海外の中国文化センターを建設する際に、デジタル資料やサービスの面でサポートを行います。

以上、中国国家図書館のこの1年の業務の発展状況のポイント、ならびに「第十三次5カ年計画」期間における国家図書館の業務の発展計画についてご紹介しました。中国国家図書館としては、貴館との協力関係を強化し、新時代の図書館建設の経験や情報を共有し、双方の協力を促進し、両国文化の交流と伝達を共同で推進していきたいと考えております。